

報道発表

令和元年度浜松フィルムコミッションの活動成果について

映画やテレビドラマ、情報番組等のロケの誘致及び支援に取り組む「浜松フィルムコミッション」の令和元年度（H31.4.01～R1.3.31）の実績は、過年度を大幅に上回り、過去最高となりましたので、報告いたします。

◆ 令和元年度 浜松フィルムコミッションの活動成果

○ 撮影支援件数 206件（過去最高。前年度比24件（13%）増）

年度 (平成)	映画	テレビ ドラマ	テレビ情報番 組・バラエティ	CM	プロモーション ビデオ	写真・ 雑誌等	Web・ その他	合計
R1年度	2	4	77	6	38	64	15	206
30年度	6	7	55	8	27	62	17	182
29年度	4	8	71	17	25	32	8	165
28年度	7	4	68	9	33	16	13	150
27年度	8	6	36	15	32	17	16	130
26年度	9	4	20	6	24	19	3	85

（※フィルムコミッション推進室設置は平成27年7月～）

令和元年度は、紀行・バラエティ番組のNHK「ブラタモリ」やフジテレビ「国分太一のおさんぽジャパン」、グルメ番組の日本テレビ「満天☆青空レストラン」やNHK WORLD「BENTO EXPO」等、情報・バラエティ系の撮影が増加しました。テレビドラマでは、フジテレビ「教場」や「10の秘密」、テレビ朝日「相棒18」の撮影が行われ、公開前の大型映画作品やCM、プロモーションビデオ等に至るまで、幅広いジャンルの映像撮影が市内で実施されました。全国規模で放送される映像の撮影も増加し、知名度が急上昇中の中田島砂丘等の郊外部だけでなく、中心市街地での撮影も行われるなど、ロケ地としてのネームバリューが「うなぎのぼり」となり、支援件数の増加につながりました。参考：<http://www.hamamatsu-film.com/>

○ 市内における撮影延べ日数 270日（前年度比50日（22%）増）

【参考】平成26年度103日、27年度200日、28年度282日、29年度236日、30年度220日 ※市内の撮影延べ日数は、5年連続で200日を突破。

映像制作予算の縮減や出演者スケジュール等の都合上、日帰りでの首都圏近郊撮影が増えていますが、豊富なロケーションとフィルムコミッションのサービス力、施設や市民の方々のご理解・ご協力等が、支援件数増加につながっています。

浜松フィルムコミッションでは、海・山・川・湖・市街地・郊外までロケーションの充実を図り、専任職員が迅速かつ細やかなワンストップサービスで対応。ボランティアエキストラ等の連携・協力によるサポート体制も充実しています。